

# SEOS便り

責任者  
正任者  
敏敏  
集集  
名名  
33  
発行  
古谷  
編編  
石川  
石他  
編編  
集集  
石石

平成30年度

## 新事業年度の抱負

専務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務お疲れ様です。

新年度のスタートに当り、私の抱負を述べさせて頂きます。まず国内政治においては、北朝鮮への防衛と憲法改正問題に尽きると思います。自公絶対安定政権の基、政府は日本国をより良い方向へ導いて頂く事を強く希望します。一方、経済面では、私達中小企業者にも経済回復が実感できる具体的政策を示してもらいたいものです。

さて、私達の業界の売上は、東京オリンピックの効果もあり順調に上昇しております。しかし、利益は、募集費やインターン経費の増加、社会保険料の増額、最賃の上昇により、下降ぎみになっております。

このような環境の下、当社は30年度も増収増益の事業計画を次の事項を基軸として策定致しました。

損益分岐点の引き下げ（営業拡大と経費削減）

荒利益の改善（原価の削減）

多能工化（一人三役）

各支社・営業所の黒字化

です。

また経営課題は

人材の確保

人材の育成

です。

一にも二にも「人材」です。特に当社においては、人材は財産なのです。そういう意味からも、本年も「縁故採用」を継続・強化致します。皆様！ぜひ御家族、御友人に声をかけて下さい（29年度実績 社員12名、パート14名）。

以上に掲げた事業計画を具現化する為には、全社員の皆様「少しでも良い会社にして行こう！」という連帯意識を持つことが何より大切であります。特に管理職の皆様は「覚悟と決意」を持ち、自ら結論を出し、自ら先頭に立ち実行して行くことを切望致します。社員の皆様は、右記事項を御理解の上、どうぞご協力の程宜しくお願い致します。



常務取締役 石川 勝敏

社員の皆様、日々業務に精励頂き誠に有難うございます。

さて、今月より新事業年度がスタートしておりますが、まず、昨年度を振り返ってみますと人手不足に奮闘した一年でした。皆様のご協力と積極的な採用活動により相当の結果が出せたものの依然として充足していない状況が続いています。この課題に関しては、GMC・AGS共通であり東京オリンピックまで続く問題と捉えています。

かかる状況を踏まえ後述の重点課題への取り組みを部門一丸となって厳しい市場競争を勝ち抜ける体制強化に邁進されるようお願いいたします。

まず、GMCですが

一、横浜・埼玉・千葉は、新規受注と業務改善を本部と連携し果敢に断行し早急に赤字の返上を図るようお願いいたします。

一、施設・環境については、近年、事業部全体への依存度が高まっており日頃の努力には深謝致します。全体の構図を勘案すると両部共により一層の体制整備と業績確保に向けて尽力をされるよう切にお願いする次第です。

次にAGSですが

一、常駐保安部が圧倒的な利益貢献しているだけでなく、他部門への応援等で事業部全体を支えているのが現状です。この偏った体質から脱却するには、残る4部門が採用及び業績改善に全力を挙げて取り組む姿勢と実践が強く求められています。早急な対応をお願いします。

いづれにしても環境好転を期待せず社員一人一人が知恵と工夫と汗を出してこの難局を乗り越えていきましよう。ご尽力をお願いいたします。



取締役GMC事業本部長  
兼横浜支社長

### 白濱 実幸

平成30年、新事業年度がスタートしました。昨年度は官公庁入札の増額で始まり、大手管理会社からの民間物件の受注、臨時工事案件の受注増により増収・増益を達成できました。しかしながら人手不足、最低賃金、社会保険料の上昇等、経営環境は大変厳しい状況が続いております。特に人手不足は極限にきており、一人一人の仕事量も増加の一途を辿っております。

この様な環境下の中、従来からの働き方ではなく、常に効率化を念頭に置き、生産性の高い働き方にシフトしていかなければなりません。特に支社、営業所の黒字化は必須であり、一つ一つの仕事を直し、利益の出せる体質を構築して参ります。また人材の確保、育成は今後の企業発展の要であり、継続的教育により後継者の育成を図ります。



取締役AGS事業本部長  
兼機械警備部長

### 寺本 憲生

3月1日より新事業年度がスタート致しました。平成29事業年度は、人手不足の中皆様のご協力の下で辛うじて利益目標を達成することができました。特に管理本部の方々にまで現場応援を頂きながら、業務を成し遂げられた現場も少なくありませんでした。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

今事業年度は、二〇二〇年の東京オリンピックを前に更なる人手不足が懸念される年であり、事業計画上もかなりの募集経費及びインターン経費を予算に組み入れてはおりますが、昨年に引き続き故募集に期待するところも非常に大きいものとなっております。協力のお願い致します。

今年、今以上に積極的に採用促進を図りながら、幹部及び後継者の育成に重点をおき、かつ営業拡大も図るべく全力で取り組んで参る所存で御座います。引き続き、皆様方のご協力のほどよろしくお願い致します。



環境部長兼千葉営業所長

### 斉藤 勝利

平成29年度環境部においては、事業計画の目標数値を、売上・営業利益ともに大幅な達成で事業年度を終了出来ました。

しかし、近年稀に見る労働力不足は厳しい状況であり、募集費の高騰や労働賃金の上昇により利益を圧迫するのは目に見えております。このよくな厳しい環境の中ではありますが、目標である「増収・増益」を達成するために人材の確保を最優先に行い、社員教育の更なる強化を図ってきたいと思っております。

千葉営業所においても同様であります。30年度は、人材も厳しいですが、売上においても大変厳しい状況が予想されます。環境部・千葉営業所ともに皆様からの協力無しでは、すべてにおいて目標達成は困難であります。皆様の御協力、御尽力をよろしくお願い申し上げます。



埼玉支社長

### 岩澤 利彦

平成29年度の埼玉支社は、売上・営業利益とも未達という惨憺たる結果で、各部門の足を引っ張る形になってしまいました。責任者として深く反省しております。

しかし昨年4月より新たに戦力となる社員が入社し、業務改善による効率化が推進されております。さらに下期以降新規顧客の獲得も進み、徐々に売上・利益良好の兆しが見えて参りました。

新年度においては、飛躍の年と致しますので、他部門の皆様のお力添え、今後とも益々宜しく申し上げます。



施設部長代理

### 杉本 吉幸

新年を迎え早くも二ヶ月が経過いたしました。簡単に昨年を振り返りますと、平成29年度は、固定売上増でスタートを切りました。また、機器更新工事・大規模改修工事案件も確実に受注することができ、売上・利益共に達成することが出来ました。

平成30年度の目標は、新規固定の獲得、既存顧客の維持、人材の確保・職場環境の充実。この3点を軸にして参ります。施設部においては固定物件の伸びが低く臨時工事案件に頼っているが現状です。については永遠のテーマであり、どんな形でも固定を増やして行くことが今後の課題となります。については各自に目標を与え資格取得にチャレンジし複数が保有する体制にする。また増員を含め的確な仕事分配をする。今後も五年後・十年後を見据え安定した運営が出来るよう、施設部(本社・現場)一丸となって全力で取り組んで参ります。

皆様のご協力を宜しく申し上げます。





常駐保安部長代理

田平 忠隆

平成30年度の常駐保安部は、「躍進」する年としてスタートを切ります。今年9月インターン、10月業務開始する施設があります。スタートを躓かない為にも人材の確保は必須条件です。現在も色々な媒体を使用して募集をしています。思うような状況に未だ到達していません。縁故募集も含め皆様方のお力添えで難局を切り開いて「躍進」して行く所存ですので、何卒ご協力の程お願い致します。

一昨年は帝京大学板橋キャンパスがスタートしました。いづれにしましても、各現場で一所懸命に頑張っている皆様方のおかげで新規案件の依頼が来ています。継続は力なりと言う諺がありますが継続するためにも人材をしつかりと確保し、一致団結して頑張つて行きましょう。最後になりますが、ご家族含め、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力の程お願い致します。



総務部長代理

横堀 彰彦

昨年度総務部は改正労働契約法に対するコンプライアンスの確立と人材確保並びに離職防止対策に明け暮れた1年となりました。中でも離職防止策につきましては、専務御発案による「誕生日プレゼント」に多くの方からお礼の言葉をいただき、引き続き実施させて頂くこととなりました。今年度におきましても国会において「働き方改革」の名のもとに様々な労働法制の改正が議論されており、それらを踏まえ当社の就業規則等に瑕疵の無い様に不断の見直しを図って参ります。また、各種人事手続きに関しましても、皆様にご迷惑を掛けぬ様、部員個々のスキルアップに努めて参ります。今年度も「楽しくなければ仕事じゃない」をモットーに皆様の役に立つ総務部を目指し努力して参りますので、皆様のご理解ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



業務中や通勤途上のケガにご注意！

ここ最近、業務中や通勤途上のケガが多発しております。日頃より注意していただいているかと存じますが、今一度、皆さんの現場においても危険な場所や物などが無いか確認をお願いします。もしそういった場所や物などがあれば、早急な対策を講じたり情報共有をして、事故が発生しないよう努めてください。

また方が一、業務中や通勤途上で事故が発生し怪我等をした場合は、基本的に「労災」として扱われます(状況によっては扱えない場合もあります)ので、すぐに上長へ報告し、労災として医療機関へ受診してください。

寒い日々がようやく終わり、暖かな春が訪れてきています。気が緩みやすくなる時期も事故が多くなりますので、職場の安全を確保し、気を引き締めて事故がないよう業務に励みましよう！



## 湯島天満宮 節分祭

当社のお客様でもある湯島天満宮で、2月3日に節分祭が開催され、境内で豆まきが行われました。当社からも毎年男、年女の方に豆まきに参加していただいております。当社は天気が良く、たくさんの参拝者に向けて豆をまいて邪気を払い、今年一年の無病息災を願いました。



左から  
常駐保安部：宮内さん  
施設部：沼倉さん  
環境部：中川さん  
環境部：二木さん

## 新事業年度 経営指針

平成30年度 グループ共通経営指針

### 21世紀社会への挑戦

- 大変革時代へ立ち向かう -

1. 「新産業革命と少子高齢化」に伴う急速変化への対応
2. AI・IoTのフル活用による新たな付加価値の創出
3. 世代間の特性を捉えた「新たな市場」「新たな需要」への対応
4. 5つの具体的対応への取り組み強化  
損益分岐点の引下げ 荒利益の更なる改善(率、額)  
多能工化 営業時間の変更 勤務シフトの変更(在宅勤務)
5. 事業の継続や早期復旧を可能とする「危機管理体制」の強化

